

「竜騰虎闘②～予行練習編～」

校長 江口 満

【前号からの続き】体育委員長と三年体育委員の体育祭にかける思いを今回も掲載する。

9月26日(火)体育祭予行練習を実施した。すでに各ブロックの応援もヒートアップ。ブロック対抗リレーを本場通りに実施すると、その熱量たるやまさに本番さながら。先生方の各ブロックへのまなざしも熱い。

実は教職という職業を選んだ人は、体育祭という学校行事に対して、ほぼほぼ好印象を持っている。多分…、そのはずだと思う。教職に就いたら、毎年、必ず直面する行事だからだ。体育祭が大嫌いな人は、教職を選ばないのではないかとさえ思っている。先生方自身の学生時代、運動の得意不得意に関係なく、学級が一体となって取り組み、その感動体験から、体育祭に対して何らかの良さをきっと見出しているのだと思う。だから、体育祭の当日、自分のブロックの色彩に染まった体操服を着こんでくる先生もいるぐらいだ。生徒と同じ、いやそれ以上その気になっている。

そして私は、「その最たる者が、保健体育科の教員である！」と勝手に分析している。保健体育科の教員は、体育祭の花形である。

体育祭練習期間中、午前中の晴天から打って変わって、給食時間から急に雨が降り始めた時のことである。腕組みをして体育科教員は、じっとグラウンドを見つめていた。「そんなに見つめても、雨は止まないでしょ。気象庁のレーダー画像は大雨を予報している。」と思う私。でもその後ろ姿から発せられる熱量というか、気迫というか、カッコつけてはいないのだと思うけど、なぜかカッコいい。私がグラウンドをにらんでいても、腰か何かを痛めて動けないのかと生徒から思われるのが落ちである。「どうせ、私は、元数学科教員だ。」といじけてみる。(現数学科の先生スママセン)【次号へ続く】



体育祭当日の降水確率0% (27日現在)は、「晴れ女」と「晴れ男」の保健体育科教員のお陰か



「自分が盛り上げる体育祭」 3年2組 体育委員長 Nさん

自分は一年生の前期しか体育委員をしたことがないし、去年の体育祭は三年生が盛り上げていたため、今年自分がこんな大役を任せられてもいいのかと思うくらい不安である。みんなを引っ張っていけるのか、体育祭を盛り上げられるのかなど、いろんな不安がある。でも自分の意志で立候補したし、先生方が自分に信頼をおいてくださっているため、その自覚を持ち、みんなが楽しかったと思えるように自分が生徒全員を引っ張って声を出し、全員を盛り上げていきたい。そのために自分が不安に思っていることを取り払うくらいに自信を持ち、自信を持つために体育祭に向けて入念に準備をする。全員を引っ張り体育祭を盛り上げることができると楽しむ。2023年則松中学校体育祭の体育委員長としての思い出は、自分一人しかいないということを知覚して、体育祭を盛り上げていく。



「体育祭に向けて」 3年3組 体育委員 Oさん

僕は三年生になり、体育委員になった。体育委員は、体育の授業時にリーダーシップを取ることが必要だが、一番大きな仕事は体育祭に向けての準備だ。朝早くから学校へ行くことは正直きつい。眠くて大変だが、最後の体育祭をこんなネガティブな気持ちで終わらせたくない！同じクラス、同じブロックの人たちと思



体育祭に彩を添える放送部員の皆さん

い出に残る体育祭にしたいと強く思う。そのためには、自分の仕事に責任を持ち、実行することが不可欠であると思う。応援の時に大きな声を出すことや、体育委員として整列を迅速に行えるように指示を出すなど、自分にできることをしていきたい。則松中学校での最後の体育祭、みんなと楽しい思い出にしたい。



【上から】全校生徒をリードする体育委員長O青春ど真ん中の選手宣誓O体育祭を盛り上げる各ブロック長・副ブロック長・体育委員の皆さんO演技係の皆さん

**「自分たちが主役の体育祭」
3年4組 体育委員 Oさん**

僕は、中学校に入学して二回体育祭を経験してきた。しかし今回の体育祭は今までとは違う。「自分たちが主役の体育祭」という自覚と責任感を持って挑むつもりだ。僕は、一年生、二年生、そして三年生と三年連続で体育委員になっている。一年、二年の体育委員で挑む体育祭は、体育委員としての自覚があまりなく、先輩がいたので楽しむだけでしたが、今回の体育祭はただ楽しむだけでなく、一、二年生を引っ張っていききたい。



**「最高の体育祭を作り上げる」
3年1組 体育委員 Mさん**

とうとう中学校生活最後の体育祭を迎える。私はクラスが、そしてブロックが丸となって盛り上がる体育祭が楽しみだ。新学年になった時、今年も絶対に体育委員になると決めていた。「全勝爆裂」は赤ブロックのテーマだ。このテーマのように、みんなで勝利を目指して盛り上げたい。そのために私は体育委員として、ブロック長や副ブロック長と共に協力して、赤ブロックを引っ張っていききたい。コロナ禍を経て、体育祭が行えることが当たり前ではないことが分かった。これまで支えてくれた先生方、保護者の方々に感謝し、みんなで思い出に残る最高の体育祭を作り上げたい。



**「仲間の思いを背負って」
3年2組 体育委員 Mさん**

今年は昨年と違う。言葉に表し難い悲しいというのか、悔しいというのか、とにかくマイナスな気持ちで体育祭の練習が始まった。それは体育委員の仲間が急に転校してしまったからだ。



【上】体育祭最終種目「ブロック対抗リレー」はあるが最後の体育祭を一は大接戦。最後まで決して目を離すことができない【左】各係の仕事も熱い
う気持ちが強い。だがいつまでもマイナスな気持ちでいたら楽しめないと思い、また同時に私がまとめて引っ張ろうという気持ちが込み上げてきた。自分の出る種目や応援、体育委員の仕事など転校した仲間の分まで全力で頑張りたい。「体育祭は祭りやけ楽しんだ者勝ち」と榎山先生がおっしゃっていたから、クラスだけではなく青ブロック全員でどのブロックよりも盛り上がり、楽しんで最高の思い出にしたい。

「Fight!」 3年3組 Tさん

今年最後の体育祭。3年3組の黄ブロックは、非常に気合が入っている。まず、全員リレーの走順決め。走順が決まらずどうなるかと思ったが、一人の救世主が現れた。それはKくんである。一番緊張する第一走者とアンカーをみんなやりたがらないが、まさかのKくんが両方の大役を引き受けてくれたのだ。3組みんなKくんに感謝している。出だしは好調だ。次に黄ブロックの応援歌だ。ブロック長のKくん、副ブロック長のYくん、Tさん、Tさん、この四人が黄ブロック全体を最高に盛り上げてくれている。四人が考えてくれた応援歌は黄ブロックの心をつにつにしてくれている。体育祭当日も盛り上がりが楽しみだ。私自身もブロック対抗リレーに出場するので、気合500パーセントだ。ほかのブロックに負けないようにがんばりたい。



「大切なのは気持ち」 3年4組 体育委員 Sさん

私は体育委員を務めているので、「体育が好きの人」と思われがちだが、実はただ単に声が大きくやる気が一倍あるだけで体育委員をやらせていただいている。そんな私が言えることはただ一つ「大切なのは気持ち」ということだ。勝負に限らずみんなが心から楽しかったと思え、勝つことも大事だけど、最後はみんなで笑顔で終われる体育祭にしたい。インフルにコロナ、学年、学級閉鎖などで練習もできない中、体育祭を開催して下さる関係者の方々に感謝したい。学校全体で楽しんで盛り上がることを、みんな揃って体育祭当日を迎えることがその恩返しになると思う。だからこの体育祭を紫ブロックから盛り上げていく。三年生は今年が最後の体育祭になる。よい思い出を作って、一、二年生にも先生方や保護者の皆様にも三年間の集大成を見せられる体育祭にする。最高の思い出になるように全力で楽しもう。

